

独立行政法人製品評価技術基盤機構施設整備費補助金

平成31年度予算額 16.2億円（新規）

うち臨時・特別の措置11.2億円

事業の内容

事業目的・概要

- (独)製品評価技術基盤機構（以下「NITE」という。）では、本年発生した北海道胆振東部地震や台風21号等がもたらした影響を踏まえ、①大規模災害時にトラブルが発生する危険性が高い設備等についての改修等工事、②大型蓄電池システムの試験評価施設における作業準備棟の整備を実施します。
- 具体的には、大規模災害時においてもNITEの業務を停滞させることなく持続的に実施できる環境等を整備するため、老朽化した設備（分電盤、チラー設備等）の改修等を行います。
- また、大型蓄電池システムの試験評価需要の高まりに対応し、事業者の試験用資材の保全及び作業者の安全確保を図るための作業準備棟を整備します。

成果目標

- ①太陽光発電システム等の電気保安行政の技術支援、生物遺伝資源の保存・提供、新規化学物質の審査など、NITEが行う法律・政策の執行支援業務を継続的に実施できる環境を整備し、業務停滞による企業の事業活動への影響の防止等を目指します。
- ②大型蓄電池システムの試験評価業務の停滞による企業の事業活動への影響を防止するとともに、分散型エネルギーの導入促進に貢献します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）

施設整備費補助金
10/10

国

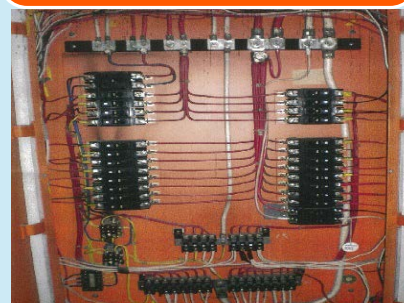
（独）製品評価技術基盤機構

事業イメージ

①大規模災害時にトラブル発生の高危険性設備等の改修等

費用：11.7億円、内容：老朽化した設備の改修等

九州支所の分電盤



老朽化による停電・出火リスク

東京本所のチラー設備



老朽化による生物遺伝資源の劣化リスク、電気保安行政の技術支援業務の停滞リスク

②大型蓄電池システム試験評価施設における作業準備棟整備

費用：4.5億円
内容：作業準備棟の整備

大阪事業所の作業準備棟（イメージ）



大型蓄電池システム試験評価施設を利用する事業者の資材保全及び作業者の安全確保